

911.3
八
上

俳諧人名錄初編

上



Red square seal impression, likely a collector's or publisher's seal, located in the lower-left quadrant of the cover.

Large, stylized blue characters, likely '水經' (Shui Jing), located in the upper-left quadrant of the cover.

Large, stylized blue characters, likely '水經' (Shui Jing), located in the lower-left quadrant of the cover.



百子  
子也

盛義齋

盛義

る

りや佐治のそとくは

友をたふし

又二行をみ

高



たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

えいよ  
かきか  
かきか  
かきか  
かきか

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに

たつたに  
たつたに  
たつたに  
たつたに







卷之五  
集とは是をいふを  
遠くちのきし風雅の女  
序

坎窩由誓



梨園有名班脚色帖  
官途有鴛行鷺序簿  
俳諧場志宜子此舉惟  
草盟兄著俳諧人名録



把三十六圖天罡七十二座  
也無盡樂括于此卷中。夫  
而後今人之居新通稱。  
一覽可知何必抄包抄勝  
越山涉水方纔稱泛交博  
大真人曰不出戶知天下不  
窺牖見天道其此之謂矣。

鷗與閑人守却約識









東都四ッ谷  
淀橋町  
大和屋作右衛門

千里城 一樓

山内とらん幹にを花の初さうけり  
雨畦をまきよこはあゝ高瀬うま  
いさよひや決てのふ家雅の園  
まおそ葉吹落るもあまきま

千坊 一前

かいけあま浮わらぬあのをさうし  
ちきりしに並あやぶひのなまこひ  
をさえをりし申く月のむらうさ  
もももろくさるるはぬや枝の雪

攝津布屋町  
大齋橋西又

蒼園 一志

花のゆきんくけは考るあつ色  
を赤人の小橋くさる牡舟さ  
草の石や月とあうらうら  
まきま 流る鴨のの遠く

東都青山住  
千葉李美

草蓬居 一蕙

恩をまら 醫者者の出も二月の形  
夕のそけや涼あまもぬくひと休  
明月やらんをを出さる水のわら  
あつしと目のあけけり神せ月

東都久右門町  
足立平左衛門  
別号くの木菴



東都四ッ谷  
淀橋町  
大和屋作右衛門

攝津布屋町  
犬齋橋西入

東都青山住  
千葉季美

東都久右衛門町  
足立平左衛門  
別号との木菴

千里城 一樓

山内とらん軒に花の似たるけし  
雨暈をまよひこほふ高蒲うき  
いさよひや終るのふ雅の園  
まろ新葉吹雪もほろこ

八千坊 一前

かいほふま浮わらぬみのをくし  
まろしし不並ふおまのたまし  
をえさをりやち月のおうき  
まろししまろししまろしし

蒼園 一志

花のちよんくけい考ルるりつ色  
えはく人の小橋くえく牡丹系  
草の石や月とあふりくえく  
まろしし流る鴨のの遠く

草蓬居 一蕙

恩をまろし醫者りの心二月の形  
卯のち柳や涼むるるぬくひと休  
明月やんをを出さる水のわら  
まろししと目のちけし神世目



東都青山御宇  
大工町横町  
佐藤彦二郎

南總武射縣  
吹入号天堂  
鈴木直右衛門

伊豆玉澤

東都  
臧氏  
号知白庵

栢南舎有圖

二之間ひききくくく楳の月夜草  
何りのちも何りのくくく更衣  
醒るくくくくく月之の地きく  
夢をを休むるくくく柱んくくく利

飛鳥園一更

くくくくくくくくくくくの中  
あちくくくくくくくくく更  
栢嶋やくくの表れくくくくく月  
娘くくく利をくくくくく糟火くく

妙法蓮華寺一瓢

片のくくくくくくくくくくく小ね鬼  
襦くくくくくくくくくくくくく  
玉川くくくくくくくくくくく  
きくくくくくくくくくくくくく

城宗樓一貴

くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
このくくくくくくくくくくく  
焼くくくくくくくくくくくく



常陸土浦  
大町  
内田由平

東都神田  
明神阪下  
稻生氏

江州湖東杉の木の  
こころの青き  
おのこころ  
色ふりの人  
おのこころ  
日々のこころの  
こころのこころ

奥州箱館  
深瀬公濟

如伸筆 一屈

く免はく折くけ埔の川にた  
時をえくも崎 福は 慮ら  
是くきく 効を 巧くの 唐か  
たうく 礼く 扱を いたうら

秋架園 怡兮

土地のの 巧く けくち ぬく 樹く 柳  
拙子や ほちく かな かな かけく  
・朔や いたう ところ 高士 なる  
造く 木の 枝く せり とも しく ぬ

天狗菴 一嘯

か入る 折く 柳く 柳く 柳  
く 人く 足く けく けく けく ぬ  
とんく けく けく けく けく けく  
か木く けく けく けく けく けく

深瀬 一甫

切出く けく けく けく けく けく  
先く けく けく けく けく けく  
茶く けく けく けく けく けく  
た 考く けく けく けく けく







葛飾竹街  
佐藤氏  
号麗水菜園  
又柳樊圃

東都紺屋町  
三町目代地  
一号瓢顛

信州水内郡  
赤沼

東都神田  
富松町  
越川庄五郎

萬醉茶大夢一醒

夢中の趣をほろりささるる  
閑子とりはさうつる西川降らぬさうり  
細布の念切しけり花の宿  
只りけりささるる花の六十回

可布菴逸淵

花のささるるのささるるささるる  
門さけりけりささるるささるる  
多味悪し孤系の契りささるる  
魚のささるるささるるささるる

辨地堂有師

もろろの浅きささるるささるる  
出さるるささるる月夜やささるる  
招のささるる木もささるるささるる

柳下菴伊凡

後漢の柳を種ささるる恒根ささるる  
世正念や舞のささるるささるる  
葉のささるるささるるささるる  
少はささるるささるるささるる



江戸本所一之  
橋詰 酒商人  
俗稱 房五郎

出羽秋田  
久保田藩

鵬 菴 一 盃

多しの菓了りき汁多き岩根くれ  
瓜のははこまゝむくやた きき  
蔓又曳けはよもくまを秋のよ  
大根のむきおろし

井 阪 由 之

えきほしきり小刀入る蹄梅れ  
情心らえそり石掃とやきつ  
崎 鶴地を在るよとちりり  
掃よききり流してえり教紅紫

東都芝口

三町目

翁屋清十郎

秋 月 庵 一 翁

紫衣も田舟の花のこころ  
すしししをきまきせり感まら  
崎 流れをり蹄分をちりや州島  
斗きりきりきりきりきり

遠 藤 夷 則

初年やまゝ板塀の淡くはた  
はたをはたけり多れいなる藤子  
照さすしにら葉うさけりきくの  
遠より海氣をつらむ子供

奥州相馬  
中村人  
一具菴寓居



武州女影  
北野又兵衛

南總武射郡  
殿部田卯  
大木幸左衛門

東都八町堀  
代官屋鋪

雲水  
釋天然

一 勢真 有隣

那ノテなき本を育市のさう梅の志  
垣こそをいふそのわくをとなふふけ少  
ゆきをのふきまのゆけまめくつ那  
もつる水辺のくげなをのれくま

二 國坊 一 貞

まきまをくさうと松吹磯家ノ那  
鷺鳥のま家ま田は舞ノ植んけり  
葛師や秋をうけりまよひ葉  
狗り子りてくちんてくまあま

根 本 露 谷

鳥をいんをいんてん入りけり  
月をいんてん是れをいんてんま  
せつこのくまをいんてんまのゆ  
版権ははけりまをいんてんま

幽 扉 弄 化

くまをいんてんまをいんてんま  
源一坊のけりまをいんてんま  
舞ノ正礼けりまをいんてんま  
木かきしや馬のけりまをいんてんま



東都御藏前  
山田屋金右衛門  
号笠菴

羽州秋田藩  
東都淺草鳥  
越中郎  
以氏為号

加州金澤産  
櫻井氏  
别号寒松菴  
又方圓居

東都御藏前  
守邨次郎兵衛  
名約字希曾又  
補陀落山房又  
小青軒  
三教九流無不通  
品竹調絲無不解

真一亭 芦窓

い〜〜〜〜〜  
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽  
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽  
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽  
羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽

延家 落州

田も圃之梅のちや 阿の流を記  
ち〜〜〜〜〜  
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大  
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大  
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

素心齋 梅室

い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜

鷗嶽菴 抱儀

い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜  
い〜〜〜〜〜



六合奔 萬里

夜一疾不伸く希きや芦の角  
らふくく刺る風不ち骨も穿りけり  
何れもさうくえくやいさふすく川  
葉大松やさを油取の流をくけ

翠濤園 萬頃

あつらふ志の光もやをぬきく  
一たつをすく絲らば一愛とくき  
名目や尻く流を撫の  
とつくしと師馬の形やまめ



東都大阪町  
玉卯氏

萬柳や秋の月の出るす  
二階の柳  
の考掃

武葛西柴又卯  
鈴木氏

柴卯居濱吉

乙島の水きく  
えのこ  
竹の

六合茶萬里

夜一  
ら  
川  
菜大

翠濤園萬頃

の  
一  
名  
と

東都御藏前  
新旅籠町  
伊勢屋  
村井瀧次郎



東都神田  
鍛冶町  
号白雄房

東都柳橋  
石井忠七郎

幸田大左衛門  
三州岡崎人  
隨桑谷山人素  
得傳法移居于江  
戸藩邸

東都牛込住  
在甲斐谷村  
中卯定吉

年々菴梅雪

鶯啼梅雪正月免寸田西の形  
の雪脱くうんまをさあさう一閑子香  
女二布ふあの子月夜はなまはく  
おととーやまをまをまの、恩

雀齋 白起

吟詠もやまうんまをさあさう一閑子香  
川風のすまうんまをさあさう一閑子香  
むさしあの子月夜はなまはく  
何れもは夜うせの起るあの子月夜

夜光菴 兀人

く知れぬやまうんまをさあさう一閑子香  
鶯啼のうんまをさあさう一閑子香  
さうんまをさあさう一閑子香  
そのうんまをさあさう一閑子香

不倦齋 芳谷

娘入の道具もさあさう一閑子香  
日向のうんまをさあさう一閑子香  
いささうんまをさあさう一閑子香  
山吹のうんまをさあさう一閑子香



東都深川  
乙幡氏  
入八采門美嗣  
蟻磨号

蟻磨齋 梅坡

蟻磨齋の梅坡  
ひる空のそよや 柳の志らく 柳  
まじりて 春の 中を 秋の  
日のまじりて 春の 紫と なる

用休 菴 梅 汁

菴の梅汁  
菴の梅汁を 押さ 砂の  
敷 敷 おし まく ち 垣を 入る 柳  
雷の ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
懸る ちり ちり 紫と なる 柳 一葉

武州藤折宿  
齊藤八郎兵衛

花神 窓 萬 籟

花神窓萬籟  
里の ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
向か ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
名月 の 暈 入る ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
ちり ちり 紫と なる 柳 一葉

夢 遠 合 梅 通

夢遠合梅通  
ニケ日 ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
庭の ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
芝の ちり ちり 紫と なる 柳 一葉  
餅花の ちり ちり 紫と なる 柳 一葉

京下立賣室町  
西丘入荒木氏

京竹屋町  
金座角  
俵屋六兵衛



丹後田邊藩  
小川 檀齋  
東都伊勢町  
鹽河岸住

武陽高麗郡  
高萩宿  
加治 楚源造

三州岡崎駕田  
山川屋嘉藏

京四条通数屋  
町西江入  
喜多川万藏

小川 夢圃

暮しの西のまゝとらきくしの西とけり  
汐不入入水の足もやそこの峰  
きく植る榊子不恒らきくく  
あゝあゝのよや火桶の換ころ

墨画堂 梅鱗

まゝとらあきくし梅の音條を  
唯のこりも折のこりもあはれ丹  
あゝ人へさきふもさきふも  
あゝとらとらとらとらとらとら

夢林舎波文

葉のさややはけらるるまの山  
唯のこりも折のこりもあはれ丹  
あゝ人へさきふもさきふも  
あゝとらとらとらとらとらとら

枯魚堂梅價

風ひきくくくくくくくくく  
うそさささささささささ  
明月の夜も赤うらさささ  
あゝとらとらとらとらとらとら







東都麻布  
廣尾町  
笠原藤兵衛

下總源田河岸  
名主新衛門

下總国印旛郡  
佐倉在太田邸  
芦田元亮

信州水内郡  
石村宿

弄雀高梅童

山崎の中かきやほほりみり  
時きき鳥さうつ掃多葉ゆ  
実あきく大根きけや秋の月  
泥阿て落葉りやまや下竈

不言堂 方舟

けかししかうきろくふむし  
橋銭といふれそ扇くこけし  
まきのをを子まきうきうき  
阿いまきう水の流きききき

木母樓 春雄

赤いのちまきうきききき  
是口の優き青きあやき  
旁ききぬきききききき  
まききききききききき

寒岳園 白齋

袖はきききききききき  
氣味きききききききき  
横ききききききききき  
あきたきききききききき







信州諏訪高嶋  
藩高木門兵衛  
号龍鱗齋又  
閑亭

龍鱗

西青史  
白外

よ祭さうり人の又さう祭接徳  
お買入い出さう博さうや其の月  
おれやまの太藺了さう祭不奉  
あふさうり珍さうりさうや帰さう

尾花菴 初居

約さうり博を 靴や甲柳  
丈折さうり駕さうり以めや浅妹紅  
秋さうり寒さうり切さうり急新花  
脂さうりの雇さうりさうり門徒寺

水戸太田  
鳥居太助

東都芝飯倉  
片町田川氏  
号自然堂

石倉 鳳朗

さうりさの崎 考のわささうり風  
掃さうりさうりさうりのさうり致さうり肩  
秋さうりやさうりあさうりさうりさうり  
煤掃さうり博さうり自然堂 走さうり

橙 菴 甫 舊

折さうり横さうりさうりさうりさうりさうり  
さうり福さうりやさうりさうりの清水のさうり子  
百姓のさうりさうり雨かさうり薄 紅茶  
さうり乃ねをさうりさうりさうり世さうり

長崎本紙屋町  
号松壽軒







東都中橋  
槇町

神通菴木化

我袖をろくすれすも不二の山を  
見よしとて一高土を足すとてしとて  
これかろく不をたすのくろそ  
不二斗山のま似ををなすく

恒齋。木。雄

蘇垣のふく糸くれき候をこり  
考く人言く事く道房く口候く  
第<sub>み</sub>所<sub>ち</sub>れ<sub>ち</sub>ち<sub>ち</sub>や<sub>ち</sub>や<sub>ち</sub>の<sub>ち</sub>石  
夫<sub>ち</sub>多<sub>ち</sub>れ<sub>ち</sub>ち<sub>ち</sub>や<sub>ち</sub>や<sub>ち</sub>の<sub>ち</sub>石

加州大聖寺  
鍛冶町  
二見屋久兵衛

加州大聖寺  
耳聞山  
依田彦左衛門

依田北馬

余をよそ日をさんし  
之初うう休む目のたれ  
耳の根を摺るゆきり  
水仙やおもて垣をうま

柳下真豊水

了之を和信河けさる  
葛蒲婦くおさるの  
用をきく上師のつ  
右形も漢へく

近江国水口住  
倉田氏











南都聖宗之人今  
在東都芝口所目  
菊屋長左衛門方  
醫業澤邊為輔

駿沼津藩  
東都櫻田上郎  
吉村甚五右衛門  
号竹堂

東都本町ニ  
所目高家  
三澤彦七

武州那賀郡  
野中邦  
中嶋利兵衛

雪彭觀獨笑

い清止とま〜ん風〜一動の中  
美年のち〜の〜しけつ二日月  
孫之利不骨のなるおや存の意  
ゆふ石の年ふ〜の〜し〜

南華房東鳩

鳥柳や舟をわつふあすのち  
ゆ〜もあふれ古津やうまつ  
山むき〜深お〜木〜柳  
聲〜花〜静〜

方圓高免州

探ある一ハ柳のほい花庵う柳  
我りのとねりハ廣な紙帳うま  
月〜書文〜お〜何  
字〜お〜お〜

梅亭吐香

花を〜と〜わ〜と〜を〜  
石陰子のうけさ〜青阿  
約柔の沢山〜系后う柳  
櫻の雲の夜お〜

ト

中



東都本町  
商家  
梅田吉三郎

東都霞ヶ関  
筑前福岡藩  
号盤古  
柏原良作

東都京橋  
彌左衛門町  
福山啓助

江州甲斐郡  
下駒月村人  
西澤和助

松霞洞等仙

まゝあゝ〜や〜みあきハ柳〜ゆ  
はあ陽あ〜ま〜か〜ゆ〜は是〜と申  
あ〜あ方や阿〜ま〜ま〜ま〜ま〜松やゆ  
我門の櫻もあ〜ま〜ま〜ま〜ま〜

松頂軒洞天

猫の子もぬ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
ま〜ま〜や阿〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
あ〜やけ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
白着〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜

草窓亭免水

約朱の〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
ま〜ま〜のま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
入る月のま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
あ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜

欄柳軒斗筭

ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
あ〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
は〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜  
一里〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜ま〜



香雪園 杜堂

遠州横須賀  
在東都芝口  
源助町  
吉野増之介

くわくやうはくこくあふまゝはま  
すくさくや月えさうこをく山の宗  
虎崎や湖の水さうきう了華歌  
堪忍と是れをさうりきうの舟

高木都見志

下總香取郡志  
高邨十三石  
高木霜兔男

筏さけ人さうぞ宗のえあうし柳  
舟のふやいとく照さうり山の水  
岸さうあうのりかりりけり  
宿さうさう人のすむをさうりえけり

曲景菴 得慶

江戸永田馬場  
佐野藩  
横尾忠兵衛

雲のくさくさうおふを 落の臺  
川さくさくさうあ子のうさみえり  
津中や一筋えりあうあう水  
さうさうさうさうさうさうさう

雨霞 兩峯 凍梨

東都飯山藩  
岡田芳太郎

さうさうやうさうさうさうさう  
ま山や小世さう落の二月月  
さうさうさう折さうさうさう  
市中のさうさうさうさうさう



東都難波町  
裏河岸  
池田與左衛門

存室斗米

枯蓬や 鷺の 参りし 小川の 水  
くくくく 水は 西の 降を 杜る  
もももも 穂も むくく 紅紫を みる  
いは 陽の ぼくく 燈を ちか 枯野 舟

水哉 遅流

春柳や ちよき 衣を 人 帰る  
眼の 果の 高さを 投こす 早苗 芽  
酔は ちよき 水も すき くる 三つ 店 の 月  
冬 玉と ちよき 知ら ず 是 戸 焚く 磯 舟 ちよ

桃徑舎ちよき女

ちよき 水に 緑なま 玉の けな  
柳の 茂る ちよき 水に 柳の 考  
ちよき 水に 柳の 考 ちよき 水に 柳の 考  
ちよき 水に 柳の 考 ちよき 水に 柳の 考

竹廻屋千節女

ちよき 水に 柳の 考 ちよき 水に 柳の 考  
ちよき 水に 柳の 考 ちよき 水に 柳の 考  
ちよき 水に 柳の 考 ちよき 水に 柳の 考

東都神田  
今川橋  
木村定次郎妻

東都淺草三石  
新鳥越  
海老屋藤八妻







下總市川根本  
水谷近江掾

寛々亭竹生  
青柳のたもとせき  
かゝ屍に成まのせし  
庭の露をのりぬる  
妻をよめしとくは  
たがらむをたす  
掃除

比良城 林曹

ちり午也ニ世  
懐子一市埃利  
かゝるは  
河のうらのあ  
くくく  
くといまの  
くくく

草乳家耕芝

粥杖をふ  
なりの  
あさむ  
木石の

柳堤 派芝

江の  
川越  
くくく  
はる

り

大坂御靈筋  
道修軒東角

武州秩父久那之  
御落合郎  
落合氏号如蠶  
東都豊嶋町住

り

三洲岡崎  
隨念寺門前  
大和屋源右衛門



東都横山町二  
町目書肆  
永固堂  
松屋勘左衛門

東都本郷二町  
目菽原氏  
江州林久

武州入間郡所  
澤三上平次郎母  
行年八十五歳

武州多磨郡  
柳澤岩  
角屋權右衛門

浦田柳美

ちよ水とてはたふらぬと田水  
凍りけり尾をこつるも  
氣をうきさるる成り  
泥河より乾提也く枯野より柳

竹葉軒柳字

葉をぬきとらん一日枝を鳥  
二編りもあくる  
老の力や衣也  
度と老をせり初時雨

野遊亭日恵女

森は起つ妻も雨をさる子けり  
秋の枝やけり  
冬や不即り  
山の形

琳松高柳英

花を短き付  
高蒲傘さす  
大名を憐れ  
門遠くし



駿府材木町  
白鳥治郎左衛門

東都浅草塀池  
丹國藩林氏  
号柏林堂又俳素  
閑人

下總香取郡  
府馬村  
宇井作兵衛

東都芝山下屋  
鋪麻布一本松  
住千与之編男

雪哉居柳普

小言の降る日とくまひのききき  
さしやむいりり位なりルころも  
此ら好も我も志なきし唐うり  
百姓の夢の信なきもやあゆなき

窓月庵里曉

露のききしをあやうせとあし梅の月  
のひかりのききしをたぐききき二日月  
梅のききしをあやうせとあし梅の月  
梅のききしをあやうせとあし梅の月

竹榮堂李一

竹のききしをあやうせとあし梅の月  
竹のききしをあやうせとあし梅の月  
竹のききしをあやうせとあし梅の月  
竹のききしをあやうせとあし梅の月

岡崎利器丸

月のききしをあやうせとあし梅の月  
月のききしをあやうせとあし梅の月  
月のききしをあやうせとあし梅の月  
月のききしをあやうせとあし梅の月



東都堀壳町  
辻氏

東都神田黒  
門町  
号俳月閑人

東都浅草田  
原町  
月院社息

東都小川町  
大銀杏之邊  
丹園藩  
号俳吐閑人

辻 里 松

てふふ花や野ちさほくしの人通  
あはれも生臭のまゝる卯月  
空崎や虎のくらの花や  
何事をもん月のむきよを

一 陽 柙 和

くるといふや難波津の砂の  
遺る祭あはれ  
舞臺よりお愛の月のまじけ  
とみ岩もちのこし小夜のち

尺 木 堂 龍 石

植切ふも之切  
きりりけち休まけ  
くらの月海ををくら  
掃とや葉の落葉をふ

朽 繩 菴 離 外

柱をうおくも  
ちね折らん山  
ちね  
花の空を  
一村を葉

り

ナシ



東都新橋  
三十間堀八町  
目橋本善藏

下総葛飾郡  
小金領國多村  
栗山三郎兵衛  
行年七十一歳

東都淺草  
御藏前  
山田屋金若衛門  
妻佐多  
号花笠

東都本町南  
割下水  
天野榮三郎  
号一清菴

少風舎柳志

あのををを遊々ををす入る柳の如  
照るまをににをを遊々ををせの峰  
存峰やふそそく出る木井の月  
吹よきそり月に隈をた後葉を

不易菴里柏

く免きそくや免もふとる水のき  
為のくさや梅の中まを月  
いくあ里隔をぬ月の清さを  
三越活や隣らけのあを

梅更舎里春女

泣く我なをくとのつをうえを  
ちのめくさのうつをを初茄子  
天の川をのりをけり光く  
正女をうれつを多す十夜を

三起園柳水子

去るをを二夜降を祭妻の如  
何をよやらをををの清清水が  
巾着をのりやをををのむ  
あをををををををを枯



東都浅草新  
堀薬師堂前  
前田萬藏

清秋葎 和月

蕪壺ふふふふふふふふふふ  
あふはふふふふふふふふふふ  
半の葉の蔭ふふふふふふふふ  
う魚ふふふふふふふふふふ

柚 菴 曰 人

雛のさく抱ふふふふふふふふ  
にふふふふふふふふふふふふ  
何小袖ふふふふふふふふふふ  
居ふふふふふふふふふふふふ

奥州仙臺人  
号芭蕉菴  
遠藤伊豆之助

江州粟津

義 仲 寺 開 寫

奈ふふふふふふふふふふふふ  
あふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふ  
きのふふふふふふふふふふふ

一 嵩 嵩 居

こふふふふふふふふふふふふ  
果船も船ふふふふふふふふふ  
峰ふふふふふふふふふふふふ  
ふふふふふふふふふふふふ

豊前中津  
原九一



武州慶澤  
三上半次郎

三上 佳年  
さきの鳥のなぐりゆく運ふの西を  
おのりてと内なるもいらく土周  
舟のきつとえきう画う向の宿  
しきくや木を伐てるききの中

天均菴閑鷗

夕東風の吹きあはるやまの中  
しきくや木を伐てるききの中  
はあふと桐をうきりて只一禁  
初夜さのきりのやうにさる樹の如

駿陽沼津藩  
星野次郎菴門  
号一諾浮龍

兒玉 何年

一力歳の便永くあはるる如  
是の如の如く後ありはるるま  
海池へ向ありや天の如  
素月や探る海にさる如

長樂寺佳月

ちふのきこころへの如く男の如  
山道やるをうけきと茨のを  
親子しきう俵あはるる舟の如  
山道をのきくや雄井の如く

東都馬喰町

信州更科郡  
姨捨山庵主

カ

十二



行脚

只夕坊可大  
ひと通已はんきうえ後すも葉が  
おししす小箱の茂る夢野を  
聖具と称するものやとらぬ  
音をきき推しぬるや襦子岩

如意 菴 葛 洞

く免柳こころをまゝにけし  
あふいとまきく花まきく寸草の月  
原崎や白川こゆる古馬  
その月法こころをみちるま

恬 淡 居 荷 少

近きうえるをと度くまやおのを  
えるの鏡に鏡すも名配の白  
灰竹桶の暮る一草か  
けり通る路すも和まのそち

齋 藤 耕 雪 女

江梅や汐風とけすも花のち  
申のまの何れも花葉の白くけり  
暮るも紅葉やにけりも花のち  
かき味のえさすもまの油氣か

東都 淀橋  
鳴子町  
升屋吉藏

東都  
中井意助

東都 白銀町  
一町目 河岸  
中屋齊藤氏



東都金杉  
橋際

八東菴荷了  
此障也猶も河を河系所  
開きありて子ちをく一を  
名月や山のかまりのま  
ぬく灰をふはさるるの  
麗

似月二首 霍山

里中や素のまをく一を  
八の月の中をく一を  
紅紫のまをく一を  
あまのまをく一を

速江敷知郡  
濱松藩隠士  
大河内氏

自少齋 翫孝

あふくあまをく一を  
二萬箇中をく一を  
あまのまをく一を  
あまのまをく一を

東都元岩井所  
信濃屋與四郎

觀福寺 夏雲

山吹茶研の中をく一を  
入りの免しをく一を  
の自や川をく一を  
内一岩の葉をく一を

下總香取郡山  
倉邨觀福寺隱  
居在小見川在新  
開葭







東都深川  
大給藩  
小池八十助

東都小川町  
藤田金輔  
号桃羽客

東都兩國朱  
澤町越前屋

東都神藏前  
元旅籠町  
高橋市郎左衛門

清流舎岸草

妻の芳の旭をよみ去る妻の香  
魚や三陽の茶屋の起る妻  
萩や山形田のふちさき草  
ら家元の舞やと又白く千菜の如

顧月奔露曉

十日不伸日折る妻の花  
三日月もいふ妻の如く  
火とともさう足さるる秋の離るる  
しめしめさう傘をさするるさの介

翠金米彦

川をのの柳やぬきよんふり  
夕涼のそよ風をよみ夜を計り  
燕のさうやうひねはるる房の如  
いふやうにやをさるる家元宿の如

松可園輿翠

赤橋いろく折るる減らるる  
一株のさうさうさうのさうさう  
芦のやうに喧嘩やうする川向ひ  
口元のねくく一とぬきをさるる



三州岡崎  
隨念寺裏  
燕方岡

青く處卓池

芝生吹うらそもり水し  
あらししよ奥吹かれし  
燕のあしれ様こころ  
日のさしき降也櫓  
梅くさつ時節

大梅居大梅

松島のももろふもろ  
ちのしと垣根へ  
秋立や秋のく色  
川

東都敷寄  
屋町菓子屋

東都

東都  
東都

黄齋

桃のさくらさくら  
雨のさくらさくら  
黄齋

菱水隣多菱古

菱水隣多菱古  
誰と又を池と

東都淺草森  
田所  
福芝齋同菴



東都深川六軒  
軒 堀芭蕉菴  
安居号北六軒  
又空印屋

東都本町一  
町月号柳屋

東 橋

雪中養菴對山

層々しく中かき 拾ふ葉々如  
線香の立さす さらや帯の流  
夕月の出さす 澄々如松の中  
漏れしうて 流も 鳴りあけぬを

小養菴確嶺

柳ちりや 麦吹 風の所 らひ不  
極る 田のうらを きのふと きのあ  
し あり ほと ぬれさす 吐く け ぬ  
新く あり あり あり あり あり あり

守 成年

まきまき ぬれぬれ ありあり ありあり  
らんありと 草 不 あり あり あり あり  
初草 あり あり あり あり あり あり  
ありあり ありあり ありあり ありあり

緑養園 桃磯

人のみめ ありあり ありあり ありあり  
ありあり ありあり ありあり ありあり  
車井の音 あり あり あり あり  
ありあり ありあり ありあり ありあり

行脚

東都御藏前  
森印次郎助  
歸長茶子

又

七



江州仁正寺  
市橋藩  
吉村郡八郎

吉 邨 泰里  
瘴病の多とひききりなまをよみぬ  
夢の橋をよみし中田植の禮返り  
煙ももしとまよひて、春夜の月  
燈漬やしとまよひていさよの入

春 曉 菴 崇 功

盗身より泣きとみきりきりあけり梅  
まゝいのかるる遠しとまよひて  
志しきもまぬ人を力やあふ紅梅  
水鳥や建つてしとまよひて

武州羽生在  
神戸  
鴨田左源次

河 山 堂 卓 郎

折る枝をえとて、身を梅のせむ心  
ゆりゆりてとまよひて、松泉茶  
くこかぬ、人々とまよひて、  
いふ家のをいさむ火のなまよひ、巨燈を

東都浅草  
黒船町河岸

晴 菴 庵 多 代 女

福引や持てまよひて、炭を  
とぬきとまよひて、梅の香の故を  
云佛と菊と、妹の阿と、  
まよひて、まよひて、まよひて、人

陸奥須賀川  
市原元助母

夕

七乙



遠江榛原郡  
大井川東側  
通小泉邸号  
泉井園  
白井實藏

東都本所北  
割下水松倉  
町岡田幸藏

出羽最上楢岡  
本覺寺住

奥州福嶋  
岡代五郎

蕉齋 且松

ふらんまゝに正しくはしるまの心  
えはふくく日暮のはく蓮の柳  
あつたまふり伸まきまは紫花を  
ゆくをくや投かたけの大井川

范月 奔大弘

山藤の水不味こむさの柳く柳  
信誓まゝことしをまふくしむを  
七夕や柳のたぐく丘の泉  
降りぬをくたぐくやまの梅

穢徳 擔月

ねらきく不味まゝのこねらまのむ  
とくをくまをくたぐく柳の市  
わちくしと看中に西や辻角力  
啄木鳥のきまのまきくや数をな

岡 大費

庵くく竹五玉おりの海島  
傘をまゝん字の字やけり子  
日の何やまの縁く秋のあま  
あかき月をくまゝくまゝく

夕

口



長崎小島

昔守 城雲

河のほとり内丸をきふまゝの如  
くあふ表すゝささるゝ二  
みまきに木立なりん甲もやまゝと入  
はこもろく根もきふしつゝやまの宿

萱 煮 太 珉

きむろわ 菅の穂のくく不梅の影  
叢す石塔 くのちの けりさす  
之折の 茄子もくけたおめ  
暮をらぬおとくに交らぬ

東都中橋  
一具菴寓居  
中村半助

東朝 方 唐 具

ひとつ身アからさるりりり  
湯さきりの人くち考るゝ  
甲の版をききまこり 淋きか秋の風  
落日向をくくに染けり

桐 二 真 達 支

美歳の鳥帽さけけり  
改元の景よりおとちや葉とくむし  
あうりのまはつち馬の鈴

下總市川  
中屋久藏

土佐高智城下  
長澤七郎号  
輕慈樓又尋龜

夕

四十一



東都下谷  
廣徳寺前通

東京舎仏阿

帰る糸の何をナリ樹し花の山  
耳澄寸艱のほろ子やあまき  
いよくのぬやまぬ火のあまき  
負し暮の老考いよる空の月呂

時習軒湛高

モ深さしんえきり西降し去るが  
くの念のこもき入るる夜く柳  
山姥のく入ぬをいりも霧のき  
き月や帰るやあまきくみつり

映新高城車

薄くはちりかをみくもあまの色  
我影をみくもりあまのきり  
たのきしきり越すあまのきり  
いし路かき人をえきりあまのきり

春三堂桃古

菖入のきりあまのきりあまのきり  
眼道をあまのきりあまのきり  
くはまきりあまのきりあまのきり  
我うちん人のけりあまのきり

下野宇都宮  
上河原町  
鹿兒嶋英三

東都愛宕下  
仙臺中郎住  
高橋紋五郎

東都芝愛宕  
下住  
西尾五郎左衛門



閑 高 桃 枝

信州善光寺  
之人  
東都人形町  
小沼氏

新水くも具むく断たりのそら  
河 舟をよきよもそらを 病の子は  
桐一葉後りらのよれ 葉汁を  
芦う花を 川をいつの越一切れ

一 地 高 桃 省

東都辨慶橋  
河内屋市太郎

くくいのそのそをまじう 帰れや毒の葉  
葉はとらや水と二瀬のこころは  
お宿の元をや 下す 花のた  
さ 垣うらちやまはん 花の阿ふ

浪 海 堂 礪 山

越中福野人  
行脚  
寺田篤二

まのをを花店し のきんひし  
まのまをくく 花のそら葉を  
大菊やあまなけまて ひまをけ  
入おの 花をまきりまをのそら

鳥 山 館 窓 雙

東都日本橋  
通二町目  
稻葉候侍醫  
山下玄門

人の山に 我をくらふそら 咲く 幸利  
巾の子のあひのそら 出さる 計  
月や 雀う 花をまきりまをのそら  
入おの 花をまきりまをのそら







越中富山藩  
江戸下谷池之  
端七軒町中郎  
山田五齋門

静 遠軒素襟

人々をさする所りくつろくは花の中  
そよよしき帯に不いはるる衣あは  
けりて袖やほろろとさする襟の中  
さするさするさするさするさするさする

一如茶尊阿

涅槃とさるる雨や大さく袖のく  
一は衣さるるさるるさるる四月の  
浪山の波のけりくつろくは花の中  
まはししとけさるるさるるさるる

奥州仙臺八  
塚田中  
遍照寺住

蕉 棲 前 見

砂々々森多るやまきりて羽みさる  
りやすさるるさるるさるるさるる  
いさるるさるるさるるさるるさるる  
足はさるるさるるさるるさるる

柳 曾 夢

存るさるるさるるさるるさるる  
苗ひとさるるさるるさるるさるる  
入さるるさるるさるるさるるさるる  
さるるさるるさるるさるるさるる

東都桶町  
黒瀬氏

幡川姫路下  
寺町善道寺  
活々場



東都亀井町  
秋元氏  
遠州屋喜太郎

弦藻菴楚卿

自あつてつぎつぎと自らいふ  
思ひをさすもさすもさすもさすも  
入あつてつぎつぎと  
火をさすもさすもさすもさすも

輝鶴菴素橋

きれ風やえとさす  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと

東都橋本町  
川岸  
高橋平三郎

北堂素仙

又あつてつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと

下總市川  
佐倉屋惣兵衛  
号一雨軒

寄生林素因

つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと  
つぎつぎとつぎつぎと

東都紺屋町  
竹内氏



下總香取郡  
志高村向  
高木喜兵衛

高木 蘇人

山さくら花遠くをひきかき  
大伴の日はあけをぬき  
未しのくさき木も也山の  
あやまきとくさきとちうは

第 嶺 舎 宗 泉

啼きを雀のさきとくさきの  
くさきの雀のさきとくさきの  
お甲のさきとくさきの  
その月もさきとくさきの

信州水内郡  
南郷  
大澤茂平治

山田 居 素 高

ちきとくさきとくさきの  
中履のさきとくさきの  
さきとくさきのさきとくさきの  
又さきのさきとくさきの

松 吟 庵 宗 二

位の松とくさきのさき  
不姓のさきとくさきの  
雲の菊のさきとくさきの  
あさしとくさきのさきとくさきの

東都新川  
山田屋店源七

信州水内郡  
南郷  
宮澤嘉藤治







東都隱士  
武田氏  
行脚

天衢 都 岐 雄

福壽中法と云ふ節をいふがうけ  
之も年々志しとていふをほくま  
乃ら一疾をちうに依り月見  
節のうきと云ふもさういふに  
いれ

櫻 室 貫 魚

川舟と一里の中りたるうみ  
甲の免しと云ふ節に田植  
宿りうりたる節に田植  
得るうみのと云ふを言ひ

枅 壽 窓 南

翌朝さく煙をこぼしと掃除  
くこきかなと思盤山の茂る節  
ふみの月夜のきりの夜舟  
を系色と云ふのひに

月院社 何 丸

門を掃瀆をさしとて  
一足はあつと云ふ節に  
秋もた四目と云ふ月の  
門とちもつと云ふ節に

越中今石動福  
町野澤善兵衛  
東都本石町一  
町目俗名同右

武州中瀬  
河岸  
齊藤安兵衛  
便所江戸白銀  
町一丁目河岸  
中屋

東都淺草  
田原町







東都根岸  
御行之松

東都赤阪  
黒鉄谷  
内田氏

遊ニ杖 兼阿

多のそが飛ぶるもこの心の中  
以折道の杖や移雖ふかき  
自露や焚火の中の唐か  
蹄のきめのききくわりのたね

六 窓 兼 白

とあはさるるも死にたがは梅の心  
かみの敵や秋さくくわのつら  
のほろ殖さるるまきまのくわ  
まのくわをくわをくわくわの宿

信州水内郡  
若槻郷西条  
押田治大夫

東都小舟町  
二町目  
金子甚右衛門

押花 兼 蘭水

まのくわやほくくわくわくわ  
のくわの井のくわのくわのくわ  
のくわの羽のくわのくわのくわ  
のくわのくわのくわのくわのくわ

程 兼 兼 兼

くわのくわのくわのくわのくわ  
夕露のくわのくわのくわのくわ  
若るまのくわのくわのくわのくわ  
のくわのくわのくわのくわのくわ

ラ



東都住吉町  
松本号佳蓬  
館意朝

夕哉菴菜山  
其秋の形すそをそそぐ  
志松福志人新神との心像か  
紅も秋もいそぐ  
天地のそそぐ  
帰

連言舎無端

塩魚とわさやまの柳の心  
月のとついろく山流る  
琴響鳴か田川入る

羽州秋田藩

守雌堂樂高

夕空やののゆるる  
花満やふん桔梗の活のこ糸  
枝と伸るむさし

岡部雨堂

家よりととりのと花の妻  
春のうらもととるなり  
木かしと止るすも

東都柴井町  
金井氏  
伊勢屋太兵衛

筑前福岡  
岡部兵吉  
便慶  
東都久保町  
納屋右門







武州多摩郡  
五日市  
内山勘次郎

亦愛盧兩邦

あつたもつとふまにあつた梅の平  
なまこころにたつとふまに茂の柳  
まつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた

立 田 右 介

あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた

東都日本橋  
瀬戸物町裏  
河岸  
伊勢屋政八

交 加 菴 兩 行

あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた

下總國津村  
山邊政次郎

云 山 堂 雲 山

あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた  
あつたまに茂の柳もあつた

東都浅草柳  
尻川岸三好町  
辨賣文生  
清唱部頭  
宮澤氏



駿沼津藩  
東都上郎  
青木半左門

犂牛高鳥久  
福...  
卯...  
卯...  
卯...  
卯...

田中 葦高

用の...  
卯...  
卯...  
卯...  
卯...

常陸信田郡  
江戸崎  
鍋屋常太郎  
田中氏

下總香取郡  
神崎森下  
押砂村  
木内蝶藏

梅通舎為睦  
ひ...  
さ...  
さ...  
さ...

惟草 葦 惟草

今...  
涼...  
明...  
冬...

東都神田丸岩  
井町黒川氏  
持明院殿直御門  
人葦道別號  
無漏軒風也坊

才



東都岩附町

蓮令舎應  
至るに時々と云ふ無不入んけり  
ゆりひきき那々すすきま田  
とさすも妖鳴そすきさかん子と  
さしてゆきまもかけさるめさると  
判

甲 和 真 乙 人

主生ちとす道行と申のやま  
ささるもくもやまのしるも  
かき瓜垣根とつらうさ  
まきさるさ家の向ありさるの中

東都向柳原  
葭州藩  
日高作右門

禾 木 園 禾 木

立うさらしはくます  
井石切やろろ多まの  
山作と花神柳女  
晴天く向のさるさる

東都南新川  
銀町一町目

結 城 和 交

くさひきやセツかあく切通  
一をんすすささるさ  
ささるささるささるさ  
大底の算并盤さるさ

東都蛸壳町  
結城平藏



東都堀橋  
五郎兵衛町  
中野五郎兵衛  
号輝山亭

花不居空是

くまのや電のよき一隅のりる  
石高の一月のりる池の中  
そこのりるえつる月やあつた  
鴨のや夜り黄のりる黄のりる

投轄亭 愚笔

武州深谷在  
寄居  
田所平藏

梅さのりる光盗すのりる自慢を  
花のゆきよのりるす百日紅  
一層根を越さをも何のりる  
花のりるけりる入ぬ帰るを

雪朝庵 完里

流氣揚るやみけととも凡  
六月やいほりるのりる世に  
峰を越す流のりるのりる  
羊さのりるのりるのりる

空の扇玩甫

空の扇玩甫  
色りるのりるのりるのりる  
名月の正面のりるのりる  
一日のりるのりるのりる

下總産  
東都様宿







尾張名古屋廣  
井南天道町北  
角  
吉原吾若門

吉原 黄山

梅ささくや汐ささくかのひくろ糸  
巾のふんちうてきくや泊るま  
苔の盆とくくきりけり天の川  
森すなはち縮あかりとけり

漆園 花永

伸しと舞きり泳ぐり花のくも  
こよよせりしぬのひそそ漆すけきか  
名月とみりてを石をすりしと糸  
野きりてをえりしと直ぐり子鞋を

東都本所四ツ  
目尻口氏

江洲八幡魚屋町  
鎌屋喜八郎  
東都出店通一  
町目叶近江屋  
号青鳳

半笠 花雪

福さしり何さし又つむも葉を  
涌きりてえりしとけり清水を  
以て開るをりやけりて光る月  
小くまきりし陣ふりてさすり

蹴跡 養 庚午

用もねを福しきりてりしと  
峠うりてりしとけりしとけり  
押さしりてりしとけりしとけり  
時ふりしとけりしとけりしとけり

行脚



秋田別藩  
東都濱町矢之  
倉下邸町田氏

傲 吉齋 花堂  
家尻の地へけりて  
木の下に居りて  
即しはを三々  
座の雲降るも  
又をうし

壺 申 奔 夜 雨 書

柳もは分のほくや  
侍もや水邊を  
人の居れと人  
うらみちん

也

東都沼津藩  
山崎源吾  
号飛銭事佛  
又權補四消光

尺 齋 羊 起

純法より  
亦裨り  
何の

割 煮 家 八 百 善

摺返る袖  
二人の  
も梅

駿沼津藩  
東都櫻田住  
成田氏号  
南歸亭壽考

東都浅草新  
鳥越

也



駿沼津藩  
清水氏

水藩  
小林次郎太郎  
号西巻住常  
陸太田

出羽最上楯岡村  
原田吉右衛門

東都葭町  
万久壯兵衛  
号松志

嶽 康 谷 時 雨

梅もや河を流るるは字一碑か  
を京中流るるは字一碑か  
糸糸の糸糸心也由くは  
の糸糸の糸糸心也由くは

且暮 奔 野 巢

是河を流るるは字一碑か  
糸糸の糸糸心也由くは  
川は糸糸の糸糸心也由くは

瓢 城 也 雛

祖父と孫弟の糸糸心也由くは  
糸糸の糸糸心也由くは  
糸糸の糸糸心也由くは

松 榮 舎 万 久

糸糸の糸糸心也由くは  
糸糸の糸糸心也由くは  
糸糸の糸糸心也由くは



肥前松浦産  
江戸牛込住在  
甲斐谷村  
服部恭作号  
山水居

遠州横須賀  
東都外櫻田住  
赤岩九右衛門

相州戸塚宿  
釜屋彦兵衛  
号菟道園

東都淺草産  
北總香取郡神  
崎之庄押砂村

菅舎 松海

大風や川と河津の流るる  
松村の山月をやはらげたる  
錦錦の財をたす余なる小橋  
折角と業をよほく小舟のつと

枸杞園 万年人

雨色くはるる 眺みあり 月の牙  
河くまき 眺みあり のこもる余  
谷川や吹おろし くる 赤の意  
寺の影を夕暮らもやしその白

津ノ桂 菴真澄

夏色くはるる 眺みあり 月の牙  
河くまき 眺みあり のこもる余  
け月不持りうと 門たす余なる  
く者もま也 盆の 帛 紗 不 降るる

風高 幻芝

風高 幻芝  
山月をやはらげたる  
水鏡をたす  
秋の意を  
く者もま也 盆の 帛 紗 不 降るる



武州熊谷在  
高崎村  
伊丹唯左衛門

伊丹溪高

四百猶を流さるるや  
鴨川の  
おさつゆ  
おさつゆ  
おさつゆ

風弄舎圭國

笑川  
日  
習

備州高井郡  
四ツ屋村福田氏

聽園蕙路

あ  
か  
あ  
あ

川崎玄子

納  
縮  
乾  
難

出羽米澤小將  
川崎朱次郎







東都横山町  
閑月菴門人  
通稱 曉輔  
号 桃一閑人

東都新橋三  
十間堀八丁目  
鈴木芳兵衛

武州越ヶ谷  
澤町  
扁屋伴泰則  
号 松三遠米館

東都本郷森  
川 泉氏号  
即佛

寄月高曉輔

酒も賣字難もくもよき味の本  
余も賣字く水も賣字く月高  
さうりくく不志不也やん  
家望の徳るん志もる紙もる

松榮会敬十

通る人の歌もくもや。千謀の垣  
盡くけの虫也のり。月高  
中のみさるはぬくくく。秋の  
江戸のちくくく。月高

月豊

くくく。月高  
外の子もくく。月高  
くくく。月高  
くくく。月高

月豊

くくく。月高  
くくく。月高  
くくく。月高  
くくく。月高



皆清新景文

駿沼津城下  
鈴木氏  
芳圭齋

字之は子の赤くは付んくも目景色  
神事ししは小室かみえ下まふま  
とあひの女ひさこも清くみりて  
水俣やまはあう功者てわらはる

辻氏 楓下

淡海信樂修羅  
尾笑九坐一  
名軫又号齋室

清若のやれ多あきあきとまふんく  
さすては付くはあの子本ま  
清帳やあはれさひまふの秋  
や雀さうり又さうれ徳何り仔細さ

東都西園

東都西園  
研堀  
小野氏

山吹やまの四くまく 水くはあ  
花瓶う枯れ茶掃りうせ川を流月  
秋の夜やああ習ふはあわこつち  
山茶花十田舎大工のあはれまを

紫二園多唐

遠州模砂藩  
在東都外櫻田  
加藤藤太郎

雀は居る所もあはれ 拂くま雀  
ひとは助を樹うも出る清く水も  
三並あうもさうひくもさみま  
夜あはれ木の曲もあはれ 秋の笛も







東都本八田堀  
井上藤藏

東時小舟

春夫辰文昇

いゝ節も野とつゝさるる春の心  
引提さる傘法師しゝき牡丹花  
破れ傘も一奥のさす月のる  
く心持さるるさか納豆多きさる

馬乘舎布席

残月や東月のさすを際なく  
かゝ子の月も舟もさるる波のさる  
舟もさるる人ハ波の 後ろ那  
さるるは波のさるる湯のさる

奥洲箱館  
吉田清兵衛  
錦株窓

下總成田  
華屋五郎兵衛

竹翁波水

樽内くちをさるるも虚のさるる  
藤のさるるさるるさるるさるる  
藤のさるるさるるさるるさるる  
さるる欠羽おのちるをけさるる

子甲巻富石

消多更けをみえさるるさるる  
鈴のさるる種しは月祭のさるる  
編のさるる冷のさるる前の子  
のさるるさるるさるるさるる

下總八幡庄市  
川住石田忠左門  
昌妙号銀鼠軒







